

【議会アンケート結果について】

議会活性化特別委員会広報部会

「アンケートの実施について〈御礼〉」

加賀市議会では、平成 23 年 4 月に議会基本条例を制定し、「開かれた議会」や「市民が参加する議会」を目指し、様々な議会改革の取り組みを行ってきました。

今回、これまでの議会での取り組みの検証と今後の議会活動・議会運営への課題整理のため、アンケートを実施したところ、市民の皆様から多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。

今回の結果を踏まえ、今後の議会活動・議会運営に活かしていきたいと考えております。

お忙しい中にも係わらず、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきました皆様方に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

「調査の方法・状況」

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1. 調査地域 | 加賀市全域 |
| 2. 調査対象 | 市内に在住する 20 歳以上の方 |
| 3. 調査方法 | 住民基本台帳からの無作為抽出による無記名アンケート |
| 4. 調査期間 | 平成 25 年 6 月～7 月 |
| 5. 調査対象者数 | 1,500 人 |
| 6. 回答数 | 425 人 ※回収率：28.33% |

「調査項目」

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. 調査対象者 | 問 1～3 |
| 2. 市議会の関心度の把握 | 問 4 |
| 3. 市議会だよりに対する評価の把握 | 問 5、6 |
| 4. 市議会の傍聴や視聴に対する把握 | 問 7～9 |
| 5. 市議会に対する評価の把握 | 問 10、11 |
| 6. 議会改革の取り組みに対する評価・意向の把握 | 問 12、13 |
| 7. 市議会への全体的な意見・要望の把握 | 問 14 |

「集計表の見方(注意事項)」

1. 今回のアンケートは、各質問に対する回答を単純計算しています。
2. 設問の中には複数回答の設問が 3 項目(問 7、9、13)あり、回答者数が全体数を上回っています。

「アンケートの分析」

設問1～3 性別・年代・地区について

- ・男性、女性の割合については、概ね同様の回答率であった。
- ・年代については、60代が一番高い回答率であり、やはり20代～40代は20%弱の回答率と低いものであった。
- ・地区については、山代、片山津、橋立の回答数が若干少なかったが、概ね同様の回答率であった。

性別	発送数	回答数	回答率(回答数/発送数)
男性	707件	199件	28.15%
女性	793件	220件	27.74%
合計	1,500件	419件	27.93%

※回答数には「無回答」を含んでいない。

年代	発送数	回答数	回答率(回答数/発送数)
20代	176件	37件	21.02%
30代	215件	45件	20.93%
40代	246件	59件	23.98%
50代	250件	82件	32.80%
60代	335件	115件	34.33%
70代	258件	80件	31.01%
80代	20件	6件	30.00%
合計	1,500件	424件	28.27%

※回答数には「無回答」を含んでいない。

中学校区	発送数	回答数	回答率(回答数/発送数)
錦城	354件	108件	30.51%
山代	409件	104件	25.43%
片山津	203件	49件	24.14%
東和	298件	93件	31.21%
橋立	56件	13件	23.21%
山中	180件	51件	28.33%
合計	1,500件	418件	27.87%

※回答数には「無回答」を含んでいない。

設問4 関心度について

議会に関心がある方は54.8%、関心がない方は43.2%と、関心がある方が半数以上であった。今後は、関心がない方に対して、いかに議会に関心を持ってもらうかが大切である。

特に、議会に対して、「身近に感じない」、「何をしているのかあまり知らない」といった意見があり、今後も一層「開かれた議会」や「市民が参加する議会」に向けて取り組んでいく必要がある。

また、「市全体を見た議論をすべき」といったご意見もいただき、議会としてもしっかり受け止めていかなければいけない。

設問5・6 議会だよりについて

どの記事も読む・関心のあるところだけ読むという方が、全体の60%近くであり、多くの方が議会だよりを手にとり、読んでいることが分かる。

主な意見では、「前年度よりも読みやすい」など良い評価もあったが、まだまだ「関心がない・読んでも無駄」や「マンネリ化している」など、改善すべき点が多くあり、今後は、読んだ感想や読まない理由を踏まえて、より充実した「議会だより」を作成していくべきである。

なお、「初めて存在を知った」という方もいたので、今回のアンケートによって議会だよりを周知できたという点では、アンケートの一つの効果ではないかと考える。

設問7 会議傍聴の状況について

議会を見たことがない方が64.3%と、ほとんどの方が見たことがないという結果であった。

また、ケーブルテレビで見たことがある方が26.6%で2番目に高く、インターネット中継については、平成23年より実施しているが、結果は2.0%と低いものであった。

主な意見としては、「いつ開催しているか知らない」など、周知不足の意見があり、現在、地区会館等へのポスター掲示やホームページの掲載、広報かがに会議日程を毎月掲載するなどの周知だけでは、まだまだ議会の開催情報が浸透しておらず、今後の工夫が必要である。

なお、質問内容や会議中の議員の態度に対する意見もあり、議員各人が今回の意見をしっかりと受け止めていく必要がある。

設問8 インターネット中継について

議会の生中継を実施した場合、半数以上の方が生中継をしても見ない(見られない)との結果であったが、見るという方も10.8%いるため、今後は、費用対効果も研究しながら、生中継の実施検討を進めていく必要がある。

また、「どちらとも言えない」が27.8%と多いが、今後、市議会に関心を持ってもらうことができれば、「見る」という回答に変わっていくことも十分考えられる。

設問9 日曜議会・夜間議会等の開催について

以前に日曜議会を2度実施したが、アンケート結果では、「平日の夜」や「土曜日の日中」に傍聴へ行こうという方が多い結果となった。この点について、今後、費用(人件費)対効果も踏まえ、通常の間帯以外で議会を実施する場合は、夜間議会や土曜議会の開催を進めていくよう検討すべきである。

以上、設問5から9を見る限り、市民の方々の議会に関する情報源は、議会だよりが最も大きく、次にケーブルテレビであった。ケーブルテレビは加入の問題もあるが、議会だよりは世帯配付のため、均等に情報提供ができるものである。そのため、インターネットによる映像配信や夜間議会などの傍聴機会の拡大等も重要と考えるが、まずは、議会だよりの充実(増ページも含めて)を第一に考えていくことが必要ではないかと考える。

設問10 市議会の活動状況の評価について

「(ある程度)評価する」という方が「(あまり)評価しない」という方を若干ではあるが上回っていた。ただ、「わからない」という方が45.2%と半数近くであり、まだまだ市議会への関心度が低いことが伺える。

意見については、個別の具体的な内容が多く、それぞれについては議員各人がしっかりと受けて止めていくべきものである。

設問11 市民の意見反映について

市民の意見反映については、ほとんどの方が「思わない」や「わからない」であった。議会に対する信頼が低く、また、意見をどう伝えればいいのかということが分からない方が多くいた。

信頼が低い点については、市民の率直な意見であり、今後、「市民が参加する議会」を進め、信頼を増すようにすることが大切である。また、「開かれた議会」にも取り組み、少しでも議会を知ってもらうようにすべきである。

そして、市民の意見を汲み取り、市民の代表として、今後の議会活動・議会運営をしていくことが大切であると考えます。

設問 12・13 議会改革について

議会改革については、半数近くの方が、「必要だ」と回答しており、今後も改革を進めていくことが必要である。また一方で、「わからない」という回答も半数近くあり、まだまだ議会への関心度の低さが伺える。

今後の課題としては、やはり「議員数・報酬の検討」が一番多く、昨年に議員定数の見直しは行ったものの、まだまだ市民感覚からすると、不十分であるという結果となった。

一方で、「議員数・報酬の検討」と同じくらいに「意見交換会や意向調査」という声が多く、また、「議会報告会の開催」も上位であった。そのため、今後は、議会報告会の実施方法を検討し、意見交換会も交えた、より充実した議会報告会の開催を検討していくことも必要ではないかと考える。

また、以前に実施した子ども議会や女性議会もある程度の評価をいただけたので、議会だよりの充実やインターネット中継の実施と併せて、市議会に対する興味・関心の向上のための取り組みを検討することも良いと考える。

設問 14 市議会へのご意見・要望について

様々なご意見を多くいただいた。

意見については、議員各人及び議会全体として、しっかりと受けて止めていくべきものである。

全体として

全体的に議会への関心度の低さや議会の取り組み(会議の開催)が浸透していない結果であり、今後は、いかに市民の方々が議会に関心を持っていただけるかを考えていくことが大切である。

また、半数以上の方が議会だよりを読み、議会の一番の情報源であることを再認識できたことは、今回のアンケート実施による状況把握の一つの効果であった。さらに、議会だよりに関する感想等も多くいただき、今後は、いただいたご意見も踏まえて、より一層の議会だよりの充実に努めていくべきである。

議会改革については、今回のようなアンケートの実施による意向調査や意見交換会・議会報告会を開催していくことが市民の求めているものであり、「開かれた議会」や「市民が参加する議会」を進めていくための大切な取り組みである。なお、「議員数・報酬の検討」も、まだまだ市民感覚では不十分であることを認識しなければいけない。

今回のアンケートによって、これまでの取り組みについて、市民の率直な意見を得ることができ、さらに、今後進めていくべき市議会としての課題も見ることができたことは非常に良かった。

今回の結果を踏まえ、今後もより良い議会活動・議会運営をしていくべきである。